

シンデレラの殺人銘柄



[シンデレラの殺人銘柄 下载链接1](#)

著者:山村 美紗

出版者:講談社

出版时间:1991-5-8

装帧:文庫

isbn:9784061849099

恋人を京都駅に見送りに来ていた知り合ったOLふたり。麻子は結婚を切望してその

資金作りに躍起。そしてまゆみは不倫の恋の相手と別れ話の最中にいる。お互い順調に進まぬ恋に悩みながら株に走るが、やがて奇怪な殺人事件が相次ぎ、ふたりは疑惑の渦中に……。株ブームと推理を融合させた好長編。

作者紹介:

山村 美紗(やまむら みさ、1934年8月25日 -

1996年9月5日)は、日本の小説家、推理作家。父・木村常信は京都大学名誉教授で、1926年京都帝国大学大学院法学研究科に進学後、朝鮮総督府京城法学専門学校長に任命され終戦まで朝鮮に在住したため、山村も日本統治下の朝鮮・京城(現在のソウル)で生まれ育った。弟は政治学者の木村汎、長女は女優の山村紅葉、次女は山村真冬。夫は京都・東山高校の元数学教師で、退職後、70歳を過ぎてから画家となった山村魏(作品は亡妻の肖像画が主)。山村美紗は4人姉弟の長女であり、他に妹が2人いる。

国内におけるミステリー界の女王やトリックの女王と呼ばれた。日本のアガサ・クリスティとも讃えられた。

1957年、京都府立大学文学部国文科を卒業。その後1964年まで京都市立伏見中学校で国語教師として教職に就いていた。結婚後、1967年頃から創作を始め、1970年に「京城の死」で江戸川乱歩賞候補、翌年の1971年に「死体はクーラーが好き」が小説サンデー毎日新人賞候補となり、その後1974年に『マラッカの海に消えた』で作家としてメジャーデビューを果たした。

京都を舞台とした作品が多く、著作は多数。その作品の多くはテレビドラマ化されている。華道(池坊準華監)や茶道の師範免状、日本舞踊の名取(花柳流)を持ち、作品の舞台としても多く登場する。

推理作家の西村京太郎との出会いは、まだ売っていない頃の西村に山村がファンレターを送ったことが縁となった。西村にとって、それがはじめてもらったファンレターだったという。山村がハガキに「夏休みを利用して北海道を一人でドライブします」と書いたところ、西村が女子大生だと勘違いし、山村の住む京都まで自ら会いに出向いた事が発端で2人の交友が始まった。西村は当初、山村を独身と信じていたため彼女にプロポーズしたが、見事に断られたと後年告白している。それで初めて山村に(夫と)娘がいることが分かり、交流は(山村の夫を除いた)家族ぐるみにまで発展する。のちに山村は西村と共同で嘗て旅館であった建物を購入し、山村一家は本館に西村は別館に住んでいた。本館と別館は鍵付きの渡り廊下で繋がっており、山村宅側からは西村宅へ自由に行き来できたが、西村宅からは山村宅には自由に入りできない構造になっていたという。山村の急逝後、西村が彼女の未完の遺作「在原業平殺人事件」と「龍野武者行列殺人事件」の2作品を仕上げている。これは、生前、西村と山村との間でどちらかが先に死んだ場合、未完であった作品を完成させるという約束があった。西村は山村と自身との関係をモデルに私小説『女流作家』『華の棺』を発表しており、「山村美紗さんに本書を捧げる」と帯に記載された。また、長女で女優の山村紅葉は美紗の作品に加えて西村原作のドラマに多く出演している。

1996年9月5日、心不全のため急逝。62歳没、滞在中の東京都千代田区の帝国ホテルにて、執筆中の小説が広げられた机に突っ伏して、亡くなっていたという。

弟の木村汎は山村の没後、『北海道新聞』1996年10月25日付けのコラム「弟から見た素顔の山村美紗」を発表した。

1970年 - 「京城の死」で第16回江戸川乱歩賞候補。

1971年 - 「死体はクーラーが好き」で小説サンデー毎日新人賞候補。

1972年 - 「死の立体交差」で第18回江戸川乱歩賞候補。

1973年 - 「ゆらぐ海溝」で第19回江戸川和乱歩賞候補。

1983年 - 『消えた相続人』で第3回日本文芸大賞を受賞。

1992年 - 第10回京都府文化賞功労賞受賞、京都府あけぼの賞を受賞。

目录:

[シンデレラの殺人銘柄 下载链接1](#)

标签

山村美紗

评论

山村著作No.73：和恋人分隔两地的麻子为了筹集结婚资金，投身股市投资。在此过程中结识了知性美女水原真由美和投资达人杉田佳子。随后真由美的婚外情人小野田离奇遇害，所有人都被卷入疑惑的漩涡中。推理层面比较寡淡，第九章就基本可以断定犯人身份，不在场证明比较简单，密室杀人的谜底是美纱最爱用的套路，都没什么出彩的。故事层面还不错，股票投资的篇幅不少，可以看出美纱偏爱市场利好消息搜集和短期频繁买卖的策略，而且本书里麻子投资好像一次都没亏过，也映照出日本泡沫经济崩溃前的盛况。感情戏也比较细腻，前半本是得不到回报的爱，后半本柳暗花明偏偏女主又三心二意，临近结局却相当虐人，一个韩剧一样的意外摧毁了一切。最后女主来到证券公司那段的空虚寂寥也非常让人感同身受。美纱比较优秀的虐路线的小说，真的好悲伤。

[シンデレラの殺人銘柄 下载链接1](#)

书评

[シンデレラの殺人銘柄 下载链接1](#)